

## 構造形成技術ロードマップ

技術		項目	短期 (2011~2013年)	中期 (2015年)	長期 (2020年)
構造形成 技術	最適設計	○人間の感覚（5感、ストレス、快適性）を計測する技術とシミュレーション技術の確立	→		
		○フルビークルデジタルモックアップを作成するための各部門間のコントロール	→		
		○多目的要件を同時に満足する最適化技術、形状最適化技術、完成車性能要件それぞれについて、部品単位の目標性能の設定などの設計手法の確立	→		
	接合	○適用する材料に合わせた工法の開発・進化	→		
		○量産化技術としての使われ始めた工法の高度化・汎用化・低コスト化	→		
		○異種材料の接合	→		
	材料	○リサイクル性向上のための易解体構造を実現するための分解しやすい接合法	→		
		○金属・プラスチックともさらなる高強度・軽量化	→		
	生産	○生産拠点のグローバル化→現地供給体制の確保→規格・成分の統合	→		

\*構造形成技術（企画・設計技術、材料技術、加工技術、生産技術、リサイクル技術などの広範囲にわたり、それら固有技術の有機的な最適化を図る技術）